2/13

今こそ大学改革の全学的反逆の烽火を試験ボイコットで起て！

昨日、協議会は基本綱領を全面拒否！

大学当局のデマゴギーによる闘争圧殺を許すな！

10月から4月近くにわたって民主化、拒否権闘争をたたかって医学部の学生に対し、大学当局＝協議会は何をもって答えたのか？ 彼らは全面拒否をもって答えたのだ。

我々は2月3日から再交渉を要求し、学生部委員と確約していたにもかかわらず昨日キャンで引延ばしていた協議会は、更にビラ切りのことに、デマによって闘争おつとする学友を圧殺しようとした。物心物心両面のクラス討論をしてこの医闘争の重要性と緊急性の故に試験期間にくいこんで、クラス討論をして、その結果、直ちに試験ボイコットをして再交渉をしようとしていた。それに対し当局（学部）教官は「協議会の重要メンバーは2人、あるピケットにカンキンされており、そのために協議会を開けていない。従って君達の試験ボイコットそして、行っても無効です。それはよりしてテストを受けなさい。」と言って、物心物心両面のクラス討論をつぶしたのである。更に本間教授医学部長代理は2時頃医闘争へ「学長はカンキンされている。」と言って、しかしそれは白々しい。これは「学長は自分の責任にならない絶対を信頼する。」と言って、教授会自治を破壊しようとしたのである。

そして当局はあくまで協議会は開いていないと言ってはばかる。

「教授と学生は対等である。」「拒否権は現行法に反する」等の教授にならない絶対を信頼しているらしい。

支配者としておろかしさに驚くのみである。

井上清（医学部）講演

医学部闘争の提起した基本綱領、拒否権闘争とは、現代の大学自治＝教授会自治を破壊するという意味で、我々は最大の決意をもってこれにいらない。自己の能力とその結果に恐怖してけっしてならない。

本日、2/13の医学部（専門2部教室）に結集し、帝国的「市大コピキメ」の幻想を打ち砕き、大学民主化の到達をみつめ、医学部の全学化

試験ボイコット、無期限ストで徹底的に闘い抜け！

大学の帝国主義的再編成に対し、我々の根底的変革と創造でもって対決せよ！ 我々はいかなる弾圧にも、いかなる手段でもって立ち上るであろう！ 試験に埋没することは当局にまとわりつくことだ！

5月1日、国大医用（専門2部）に結集し、帝国的「市大コピキメ」の幻想を打ち砕き、大学民主化の到達をみつめ、医学部の全学化をめざそう！

統一合議アピール

2/13